平成 29年度(28年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総	ま	まちづくりの目標			心豊かで未来を築く人を育むまち	評	局名	教育局
合計		政	策		社会を生き抜く力を育む教育の充実	価 担	課室名	学校教育課
計		lΓ	施策		学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
画体系			基本事業		確かな学力の育成	事業	実施主体	市
糸				事務事業	児童生徒副読本支給事業	事業	期間	平成 28年度~平成 35年度

【事業全体概要】

学校教育における補助教材としての副読本を支給し、保護者負担の軽減と教育効果の向上に努める。

事業の概要

29年度 概要

児童副読本の購入 ・体育(わたしたちの体育、1~6年生) ・道徳(なかよし、1・2年生)(ともに生きる、3・4年生) (わたしのいく道、5・6年生) ・社会(高松の今と昔、3・4年生)

重点取組事業

市長マニフェスト

事務事業の類型

ソフト事業 (法律による実施義務無)

【事業の目的】

対象(何を)

市内小・中学校の児童生徒

状態にしたいか)

意図(どのような学校での社会科の指導や道徳の時間などに活用し、教育の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
児童生徒副読本購入冊数	₩			66,301	69,108	69,108

【事業の成果】

	世田松拝なくじる レンセナ田 がほうたた	15.5	334 /A	イチロボ	1 100	1.07	1.00	1 100	: 中期目標
	成果指標名(どのような成果が得られた	א')	単位	種別	H26	H27	H28	H29	H30
	児童生徒副読本配布率		%	目標値			100	10	0 100
				実績値			100		
成	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成	400						·	
果	成未1日ほの達成及(日ほに対してこれに)達成 古が記罢する小山学校で数会上必要であり 「		120- 100-						(達成度)
成果指標	市が設置する小中学校で教育上必要であり、 本事業の実施により教育の充実が図られ、目 標どおり達成できた。	(目標達成度)	80-						100.0%
1334	標どおり達成できた。	-≜-	60-						100.0/0
			40-						
			20-	1	1	1 1	1 1		35点
		—	U- H2	4 H25	H26	H27 H28	H29 H3	0 H31	
	成果指標名(どのような成果が得られた	か)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
		·~ /		 目標値					ГЪО
⊏tċ				実績値		<u>j.</u>	.ii		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成	できたか)	1_						/*## × \
指		(目標達成度)							(達成度)
標									
			d_			1 1			
			H2	4 H25	H26	H27 H28	H29 H3	0 H31 L	

【コストの推移】

	指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)	
	トータルコスト	[千円]	39,260	39,347	39,256	39,197	
١	事業費)	[千円]	35,569	35,508	35,330	35,271	
1	職員人件費)	仟円1	3,691	3,839	3,926	3,926	

【評価】

評価ランク	٨	今後の方向性	4/4/4
(A~D)	A	(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

市が設置する小中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

授業への活用について、より一層の活用を促していく。